



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和6年4月発行 嘉手納町教育委員会



ごあいさつ

近年、グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、高度化・複雑化する諸課題への対応が必要となっております。また、変化が激しく先行きが不透明な社会において、学校教育において、求められる人材育成像への対応も必要となっております。

嘉手納町教育委員会におきましては、これらの課題に対応するために、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて、知識を活用し、付加価値を生み、イノベーションや新たな社会を創造していく人材や、国際的視野を持ち、個人や社会の多様性を尊重しつつ、他者と協働して課題解決を行う人材育成に努めてまいります。

これまで同様、これからの教育行政の推進に当たりましては、長期的展望のもとに、教育現場の現状と町民のニーズを踏まえることが重要であると考えております。

今年度から「教育委員会だより」を発行し、学校教育や社会教育について情報を発信してまいります。町民の皆様には、教育委員会を身近な存在として感じていただき、様々な視点からのご意見、ご提案などをいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

嘉手納町教育委員会 教育長 浦崎 直哉

教育理念(ビジョン)

●本町が目指す学校の姿

“いい学校をつくりましょう” ～すべての人の幸せを追求する～

- 「いい学校」とは、学校を取り巻くすべての人々が、日常会話の中で「いい学校だね」と言ってくれる学校のことです。「いい学校」は、自分たちを含め、すべての人をハッピーにする学校です。ハピネス（幸福）こそ人間社会すべての究極の目的です。
- 子どもたちは、幸せな大人の姿を見て、幸せになる力をもつことができます。教職員や保護者、地域の大人も幸せであることがとても大切です。
- 「いい学校」づくりには時間がかかります。もみじの葉がゆっくり色づくように、「いつの間にか『いい学校』に染まっていた」、そんな学校を教職員と保護者、地域、行政が一緒になってつくっていきたいと考えています。

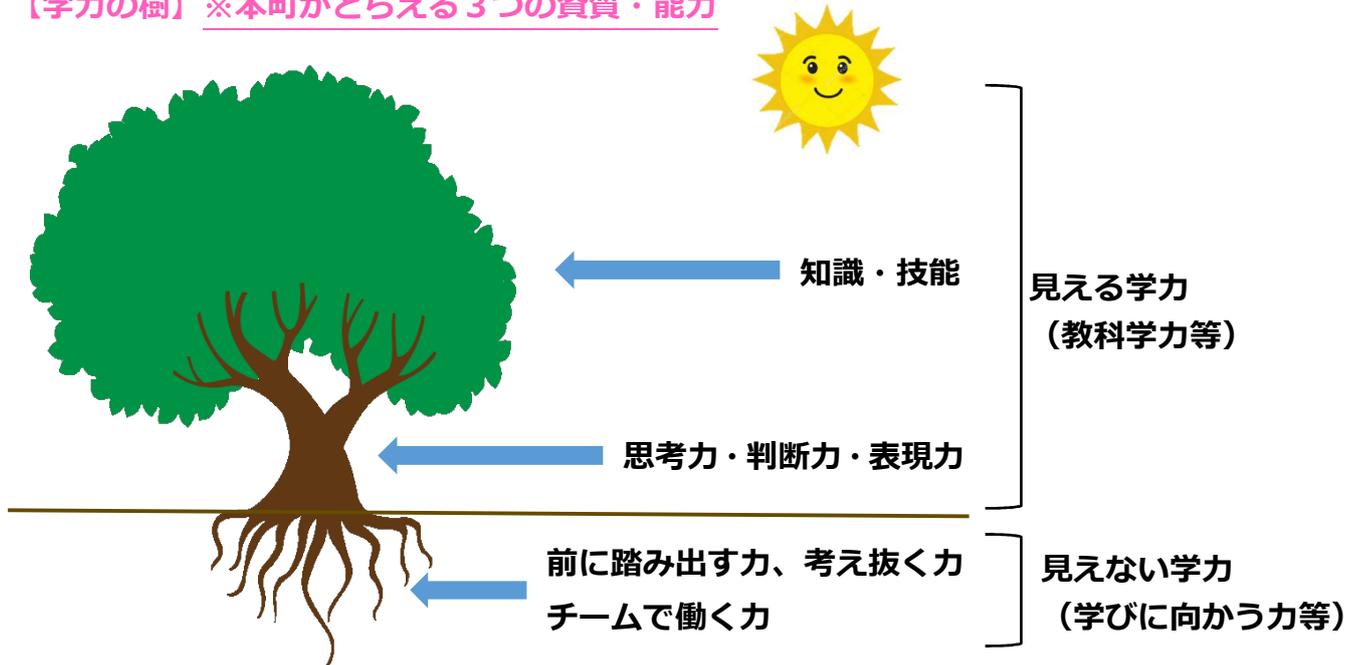
「いい学校」の姿

- ・子どもにとって、毎日行きたくなる学校
- ・保護者にとって、通わせたい学校
- ・地域にとって、応援したくなる学校
- ・教職員にとって、働きたくなる学校
- ・来校者にとって、また来たい学校、そして、ずっと居たい学校



子どもたちに育てたい資質・能力(「かでな型学力」)

【学力の樹】 ※本町がとらえる3つの資質・能力

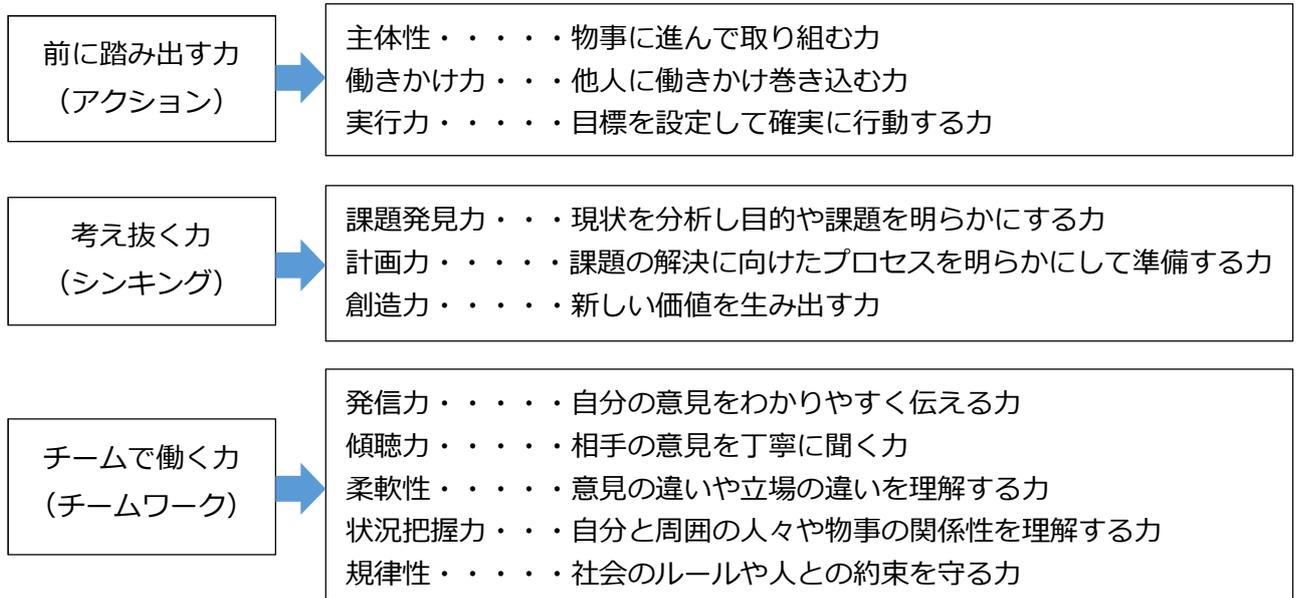


「見える学力」だけでなく「見えない学力」も大切！

「学力の樹」の1つめは、「知識・技能」で「葉」に相当します。2つめは、「思考力・判断力・表現力等」で「幹」の部分となります。そして、3つめは、「前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力」で、「根」の部分となります。「根」は外から見えませんが、しっかりと張っていれば、太くてどっしりとした「幹」が育ち、その先には青々とした豊かな「葉」が生い茂ります。〔「根」の部分は、嘉手納町独自の学力観→「かでな型学力(資質・能力)」と定義〕

このように3つの資質・能力の関係を捉えることで、各学校で児童生徒の学力向上を図るためには、樹全体をよく観察して、どの部分の育成に力を注げばよいのか把握することが重要です。

【かでな型学力】(人生100年時代の社会人基礎力)



いよいよ新学年度スタート

入園・入学おめでとうございます！



屋良幼稚園（新入園児 12 名）



嘉手納幼稚園（新入園児 57 名）



屋良小学校（新入生 52 名）



嘉手納小学校（新入生 96 人）



嘉手納中学校（新入生 142 名）

【嘉手納中学校 校長式辞から】

校長：It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is most adaptable to change.

ALT：最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である。

●子どもたちに伝えたい言葉

- ・教育者、浄土真宗僧侶である東井義雄先生の言葉に「自分は自分の主人公、世界でただ一人の自分を創っていく責任者」という言葉があります。新しい学校生活をスタートさせる子どもたちに、ぜひ伝えたい言葉のひとつです。
- ・自分の主人公として、輝いてほしいと思います。自分の主人公として自分をあきらめないでがんばってほしいと思います。毎日の勉強も、毎日の遊びも、生活も、何もかも全部、自分が自分の主人公になっていくためのものであって、最後は結局自分で自分を創っていくのです。

嘉手納外語塾入学式 おめでとうございます！



嘉手納外語塾 27 期生の入学式を 11 日中央公民館で行いました。入塾許可書を受け取った 15 名は、これから 2 年間の課程で英語を中心に、琉球舞踊やビジネスマナーなどを学び、ボランティア活動にも当たります。特に英語は「習うより慣れろ！」をモットーに、米国での短期留学研修や基地内インターンシップを通して、実践英語を身に付けていきます。

子育て支援事業(新規・拡充・継続)

●教材費の一部助成 (11,160 千円)

- ・小・中学校で使用される補助教材に係る費用の一部を助成します。
- ➡児童生徒一人当たり 8,000 円を助成します。

●学校給食費補助 (69,795 千円)

- ・町立小・中学校に在籍する児童生徒の保護者に対して給食費を補助します。
- ➡給食費の全額を町が補助します。

●町立幼稚園給食費補助 (7,208 千円)

- ・町立幼稚園に在籍する園児の保護者に対して給食費を補助します。
- ➡給食費の全額を町が補助します。

●子ども医療費助成 (60,555 千円)

- ・0 歳から 18 歳までの子どもの医療費に係る自己負担額を助成します。
- ➡町子ども医療費助成事業パンフレット(参照)

●入学祝金の支給 (17,920 千円)

- ・小・中・高校の入学時に、保護者に対して、入学祝金を町が支給します。
- ➡小：3 万円 中：4 万円 高：5 万円

●災害共済給付 (625 千円)

- ・学校の管理下における児童生徒等の災害に対して災害共済給付を行います。
- ➡共済掛金の全額を町が負担します。

※「子ども医療費助成」と「入学祝金の支給」は、子ども家庭課が主管する事業となっています。

小学校の通学かばんの選択について

物価高騰による家計の負担や、近年の多文化・多様性が尊重される社会において、保護者や児童が通学かばんを自由に選択できるようにすることが必要であると考えています。そこで、下記を参考に各家庭でご相談の上、通学かばんに最適なものを自由に選択できることとします。

- 1 通学かばんは、ランドセル以外のかばんの使用を認めています。
- 2 両肩掛けで両手がふさがらない形状で、安全性の確保ができるかばん
- 3 必要な学用品が入り、教室のロッカーに収まる大きさのかばん
- 4 耐久性や機能性を兼ね備えているかばん

